

5-9. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者における薬効分類ランキング（後期）（2次医療圏別）

- 3医療機関より同成分の薬剤を処方された患者における薬効分類別薬剤費は、安房医療圏と君津医療圏では、県上位3位である「消化性潰瘍用剤」が1位にきている。

3医療機関における、薬効分類別医療費ランキング上位10

(円)

	千葉医療圏	東葛南部医療圏	東葛北部医療圏	印旛医療圏	香取海浜医療圏	山武長生夷隅医療圏	安房医療圏	君津医療圏	市原医療圏
1	他に分類されない代 謝性医薬品 12,881,073	他に分類されない代 謝性医薬品 32,095,534	他に分類されない代 謝性医薬品 28,050,374	血液代用剤 21,756,280	他に分類されない代 謝性医薬品 6,445,559	その他の腫瘍用薬 23,273,874	消化性潰瘍用剤 8,864,441	消化性潰瘍用剤 6,421,004	他に分類されない代 謝性医薬品 8,108,548
2	眼科用剤 9,762,039	その他の腫瘍用薬 28,401,504	血液代用剤 27,034,391	他に分類されない代 謝性医薬品 8,031,200	その他の中枢神経系 用薬 2,665,016	その他の循環器官用 薬 10,658,795	他に分類されない代 謝性医薬品 5,807,277	他に分類されない代 謝性医薬品 6,007,042	その他の中枢神経系 用薬 3,381,940
3	血液凝固阻防止剤 8,977,075	血液代用剤 22,288,243	その他の腫瘍用薬 17,494,056	眼科用剤 6,401,053	消化性潰瘍用剤 2,488,174	血液凝固阻防止剤 8,662,128	血液代用剤 3,203,933	血液凝固阻防止剤 5,682,769	消化性潰瘍用剤 3,165,080
4	消化性潰瘍用剤 8,916,839	血液凝固阻防止剤 18,484,549	消化性潰瘍用剤 16,142,456	その他の中枢神経系 用薬 6,305,559	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 2,452,313	他に分類されない代 謝性医薬品 8,442,334	血液凝固阻防止剤 3,198,626	その他の腫瘍用薬 4,969,691	その他の腫瘍用薬 3,078,270
5	その他の中枢神経系 用薬 8,077,774	その他の中枢神経系 用薬 18,181,146	血液凝固阻防止剤 15,734,726	その他の腫瘍用薬 6,025,115	眼科用剤 2,136,181	消化性潰瘍用剤 5,939,284	その他の中枢神経系 用薬 2,582,458	眼科用剤 4,398,293	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 2,594,174
6	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 7,147,973	血液製剤類 17,046,050	血液製剤類 13,574,660	血液凝固阻防止剤 5,851,209	血液凝固阻防止剤 1,881,045	その他の中枢神経系 用薬 5,631,655	その他の循環器官用 薬 2,266,963	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 4,132,498	血液凝固阻防止剤 2,502,725
7	その他の泌尿生殖器 官及び肛門用薬 6,465,416	消化性潰瘍用剤 15,757,410	抗パーキンソン剤 13,094,630	消化性潰瘍用剤 5,547,852	血液代用剤 1,690,690	血液製剤類 4,982,080	血圧降下剤 1,786,139	抗ウイルス剤 3,845,345	甲状腺、副甲状腺ホ ルモン剤 2,058,426
8	血液代用剤 5,726,107	眼科用剤 14,010,369	その他の中枢神経系 用薬 11,923,064	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 4,849,553	その他のホルモン剤 (抗ホルモン剤を含 む。) 1,575,005	血圧降下剤 4,157,205	利尿剤 1,693,455	血圧降下剤 3,465,268	血圧降下剤 1,878,409
9	解熱鎮痛消炎剤 5,536,397	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 11,382,599	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 10,801,879	血圧降下剤 4,159,786	その他の泌尿生殖器 官及び肛門用薬 1,350,212	眼科用剤 3,831,596	糖尿病用剤 1,616,047	抗ヒスタミン剤 3,338,444	解熱鎮痛消炎剤 1,823,012
10	その他の血液・体液用 薬 5,534,329	その他のホルモン剤 (抗ホルモン剤を含 む。) 10,505,212	血圧降下剤 10,094,705	抗パーキンソン剤 4,036,543	解熱鎮痛消炎剤 1,333,607	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 3,692,809	その他の血液・体液用 薬 1,386,081	その他の中枢神経系 用薬 3,191,258	その他のホルモン剤 (抗ホルモン剤を含 む。) 1,591,721

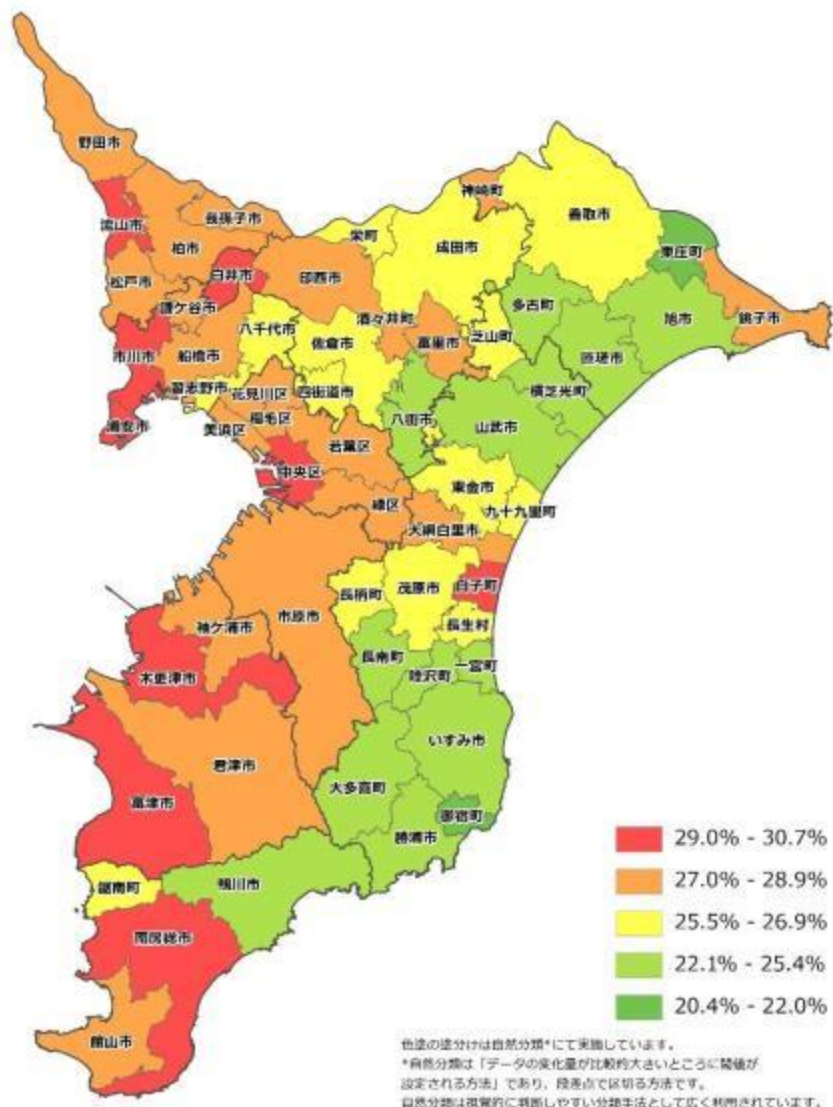
※同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者の全レセプトにおける主傷病を集計

※千葉県全体の疾病中分類別医療費上位3を色付け

※赤色のデータバーは各医療圏の1位を100とした場合の比率を作成

5-10. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期）

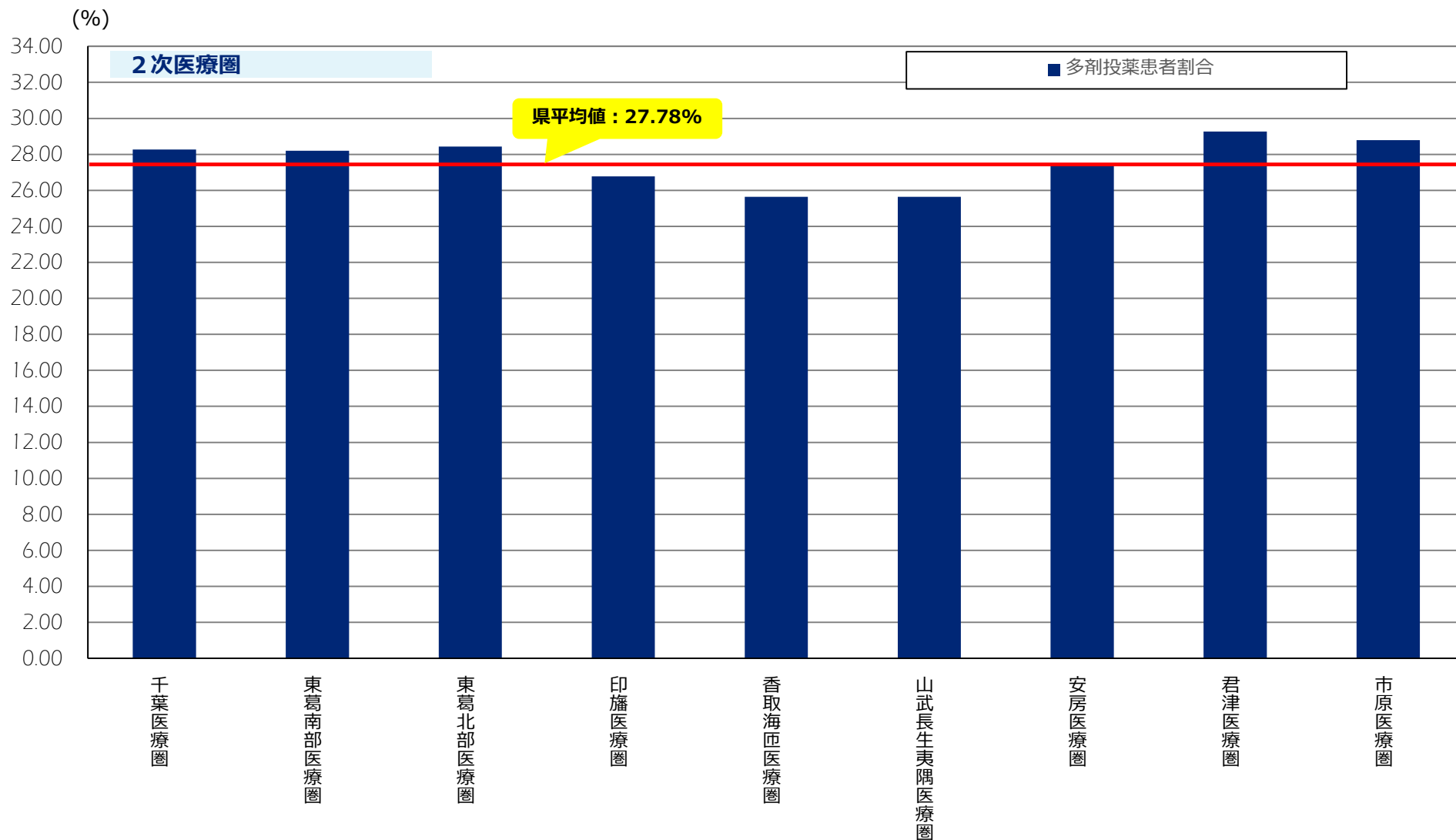
- 市町村別同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期）の千葉県平均値は27.78%となっている。
- 患者数割合を地域別にみると、県北西から南西にかけて高い値を示す地域が多い傾向が見られる。



市区町村	多剤投薬患者数割合 (%)	市区町村	多剤投薬患者数割合 (%)
浦安市	30.68%	習志野市	26.94%
富津市	30.51%	八千代市	26.90%
流山市	30.51%	東金市	26.88%
長生郡白子町	30.21%	長生郡長柄町	26.66%
市川市	29.71%	山武郡九十九里町	26.53%
千葉市中央区	29.63%	成田市	26.51%
木更津市	29.48%	長生郡長生村	26.50%
南房総市	29.36%	山武郡芝山町	26.46%
白井市	29.09%	安房郡鋸南町	26.41%
君津市	28.87%	佐倉市	26.33%
館山市	28.84%	香取市	26.19%
市原市	28.80%	四街道市	26.03%
我孫子市	28.56%	印旛郡栄町	25.99%
鎌ヶ谷市	28.45%	茂原市	25.69%
松戸市	28.36%	長生郡一宮町	25.39%
千葉県花見川区	28.28%	八街市	25.37%
千葉県稲毛区	28.23%	夷隅郡大多喜町	25.32%
印旛郡酒々井町	28.23%	旭市	24.86%
印西市	28.17%	長生郡長南町	24.86%
銚子市	28.07%	山武市	24.84%
袖ヶ浦市	28.04%	香取郡多古町	24.79%
千葉県美浜区	27.95%	長生郡睦沢町	24.42%
柏市	27.93%	山武郡横芝光町	24.19%
大網白里市	27.92%	いすみ市	24.18%
富里市	27.73%	勝浦市	23.89%
野田市	27.57%	匝瑳市	23.36%
船橋市	27.56%	鴨川市	23.07%
千葉県緑区	27.55%	夷隅郡御宿町	21.97%
千葉県若葉区	27.53%	香取郡東庄町	20.36%
香取郡神崎町	27.37%	千葉県平均値	27.78%

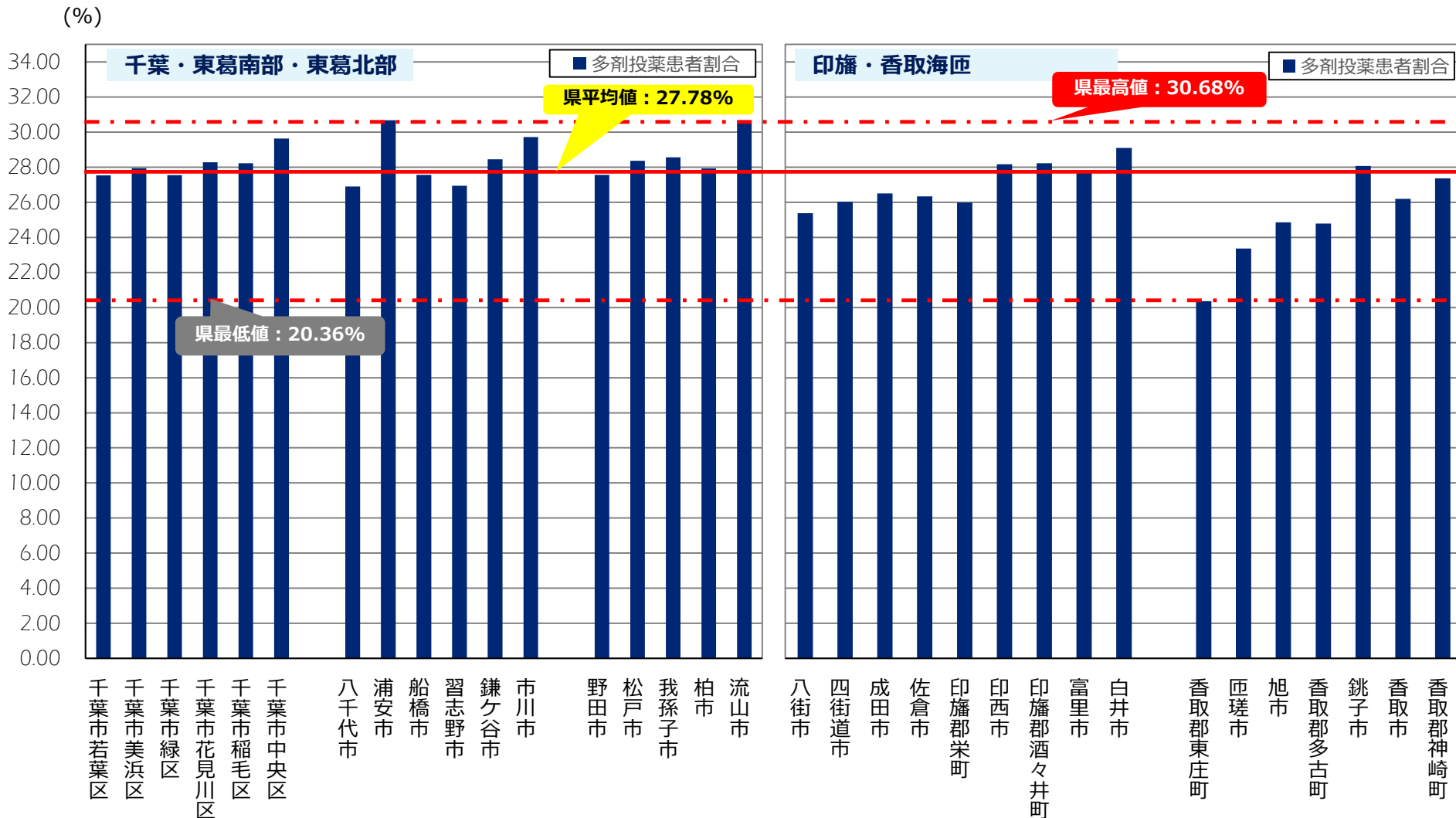
5-10. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期） 2次医療圏

- 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期）について、2次医療圏別に見ると、君津医療圏が最も高く、山武長生夷隅医療圏が最も低い。



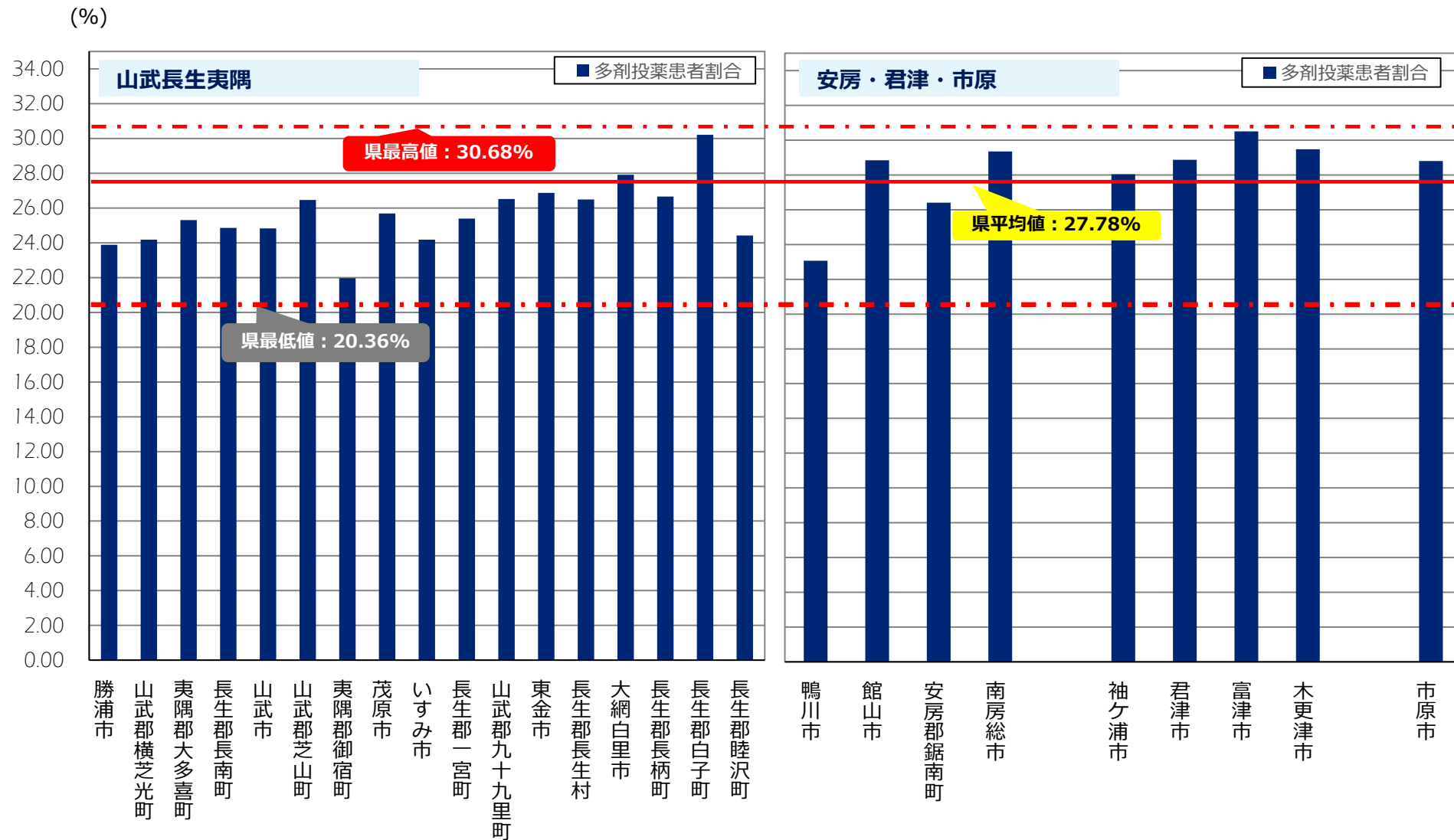
5-10. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期） 千葉・東葛南部・東葛北部／印旛・香取海匝

- 千葉・東葛南部・東葛北部では浦安市、流山市が高くなっており、浦安市は千葉県内の最高値となっている。
- 香取海匝は全体的に割合が低くなっており、香取郡東庄町は千葉県内の最低値となっている。



5-10. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（後期） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

- 山武長生夷隅では全体的に千葉県平均値より低い市町村が多い。
- 安房・君津・市原は安房郡鋸南町と鴨川市を除き千葉県平均値より高くなっている。



5-11. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者における疾病中分類ランキング（後期）（2次医療圏別）

- 複数種類の薬剤を処方された患者において、疾病別に患者割合をみると、どの医療圏でも「本態性（原発性）高血圧（症）」が1位となっている。上位3位の疾病は国保と同様となっている。

疾病中分類別患者割合ランキング上位10

	千葉医療圏	東葛南部医療圏	東葛北部医療圏	印旛医療圏	香取海匠医療圏	山武長生夷隅医療圏	安房医療圏	君津医療圏	市原医療圏
1	本態性（原発性） 高血圧（症） 12.81%	本態性（原発性） 高血圧（症） 13.09%	本態性（原発性） 高血圧（症） 13.26%	本態性（原発性） 高血圧（症） 11.97%	本態性（原発性） 高血圧（症） 12.67%	本態性（原発性） 高血圧（症） 12.73%	本態性（原発性） 高血圧（症） 13.82%	本態性（原発性） 高血圧（症） 14.39%	本態性（原発性） 高血圧（症） 13.87%
2	胃炎及び十二指腸炎 10.34%	胃炎及び十二指腸炎 9.81%	胃炎及び十二指腸炎 9.90%	胃炎及び十二指腸炎 8.63%	その他の白内障 9.18%	胃炎及び十二指腸炎 8.51%	その他の白内障 10.44%	その他の白内障 10.22%	胃炎及び十二指腸炎 10.06%
3	その他の白内障 8.45%	脊椎症 8.54%	脊椎症 8.44%	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 7.47%	胃炎及び十二指腸炎 8.67%	その他の白内障 7.91%	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 9.22%	胃炎及び十二指腸炎 9.48%	その他の白内障 8.56%
4	脊椎症 8.41%	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 7.85%	心不全 8.10%	その他の白内障 7.36%	心不全 7.77%	心不全 7.44%	胃炎及び十二指腸炎 9.00%	脊椎症 9.27%	脊椎症 8.25%
5	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 8.09%	心不全 7.66%	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 8.01%	心不全 7.14%	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 7.47%	脊椎症 6.82%	脊椎症 8.44%	膝関節症【膝の関節 症】 8.99%	膝関節症【膝の関節 症】 8.04%
6	膝関節症【膝の関節 症】 7.54%	膝関節症【膝の関節 症】 7.65%	その他の白内障 7.43%	膝関節症【膝の関節 症】 7.12%	膝関節症【膝の関節 症】 7.00%	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 6.81%	膝関節症【膝の関節 症】 7.92%	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 8.91%	骨粗しょう症，病的 骨折を伴わないもの 7.81%
7	心不全 7.14%	緑内障 7.17%	膝関節症【膝の関節 症】 7.34%	緑内障 6.73%	胃食道逆流症 6.71%	胃食道逆流症 6.72%	胃食道逆流症 7.75%	胃食道逆流症 7.27%	心不全 7.07%
8	緑内障 7.10%	その他の白内障 6.96%	胃食道逆流症 7.16%	脊椎症 6.72%	脊椎症 6.69%	膝関節症【膝の関節 症】 6.68%	心不全 7.50%	リポタンパク代謝障害 及びその他の脂血症 7.04%	リポタンパク代謝障害 及びその他の脂血症 6.28%
9	胃食道逆流症 6.68%	リポタンパク代謝障害 及びその他の脂血症 6.74%	狭心症 6.71%	胃食道逆流症 6.05%	緑内障 6.15%	その他の脊椎障害 5.91%	背部痛 6.54%	心不全 7.02%	胃食道逆流症 6.22%
10	リポタンパク代謝障害 及びその他の脂血症 6.66%	胃食道逆流症 6.37%	リポタンパク代謝障害 及びその他の脂血症 6.57%	リポタンパク代謝障害 及びその他の脂血症 5.94%	背部痛 5.88%	詳細不明の糖尿病 5.61%	屈折及び調節の障害 6.23%	その他の脊椎障害 6.95%	背部痛 6.12%

※同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者の全レセプトにおける主傷病を集計

※千葉県全体の疾病中分類別医療費上位3を色付け

※赤色のデータバーは各医療圏の1位を100とした場合の比率を作成

5-12. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者における薬効分類ランキング

(後期) (2次医療圏別)

- 複数種類の薬剤を処方された患者において、疾病別に患者割合をみると、どの医療圏でも「消化性潰瘍用剤」が1位となっている。国保では「血液代用剤」が上位にきていたが、後期では「鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤」が上位にきている。

薬効分類別患者割合ランキング上位10

	千葉医療圏	東葛南部医療圏	東葛北部医療圏	印旛医療圏	香取海浜医療圏	山武長生夷隅医療圏	安房医療圏	君津医療圏	市原医療圏
1	消化性潰瘍用剤 22.64%	消化性潰瘍用剤 22.45%	消化性潰瘍用剤 23.36%	消化性潰瘍用剤 21.78%	消化性潰瘍用剤 20.53%	消化性潰瘍用剤 21.06%	消化性潰瘍用剤 22.25%	消化性潰瘍用剤 24.26%	消化性潰瘍用剤 23.94%
2	解熱鎮痛消炎剤 21.81%	解熱鎮痛消炎剤 22.16%	解熱鎮痛消炎剤 22.20%	解熱鎮痛消炎剤 20.85%	解熱鎮痛消炎剤 20.27%	解熱鎮痛消炎剤 20.32%	血液代用剤 21.90%	解熱鎮痛消炎剤 23.60%	解熱鎮痛消炎剤 22.51%
3	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 21.25%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 21.39%	血液代用剤 21.65%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 20.10%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 19.93%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 19.44%	解熱鎮痛消炎剤 21.62%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 23.31%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 22.18%
4	血液代用剤 20.34%	血液代用剤 20.67%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 21.40%	血液代用剤 19.80%	血液代用剤 18.21%	血液代用剤 18.75%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 21.01%	血液代用剤 22.16%	血液代用剤 19.72%
5	局所麻酔剤 19.22%	局所麻酔剤 19.15%	局所麻酔剤 19.83%	局所麻酔剤 18.42%	局所麻酔剤 17.31%	局所麻酔剤 17.61%	局所麻酔剤 19.28%	局所麻酔剤 19.37%	局所麻酔剤 18.58%
6	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 18.09%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 18.50%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 18.49%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 17.70%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 16.37%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 16.57%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 17.45%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 18.03%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの 17.60%
7	眼科用剤 16.19%	眼科用剤 16.16%	血液凝固阻止剤 16.07%	血圧降下剤 14.85%	血圧降下剤 14.89%	血圧降下剤 14.48%	血液凝固阻止剤 16.11%	眼科用剤 17.04%	血圧降下剤 16.64%
8	血管拡張剤 15.71%	血管拡張剤 15.75%	血管拡張剤 15.97%	眼科用剤 14.70%	血管拡張剤 14.88%	血管拡張剤 14.06%	血圧降下剤 15.84%	血圧降下剤 16.79%	血管拡張剤 16.41%
9	血液凝固阻止剤 14.54%	血圧降下剤 15.26%	眼科用剤 15.13%	血管拡張剤 14.43%	眼科用剤 14.07%	眼科用剤 13.56%	眼科用剤 15.34%	血管拡張剤 16.73%	眼科用剤 15.70%
10	下剤、浣腸剤 14.53%	血液凝固阻止剤 14.86%	血圧降下剤 15.04%	血液凝固阻止剤 14.12%	下剤、浣腸剤 11.89%	下剤、浣腸剤 12.92%	血管拡張剤 14.24%	下剤、浣腸剤 14.26%	血液凝固阻止剤 14.10%

※同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者の全レセプトにおける主傷病を集計

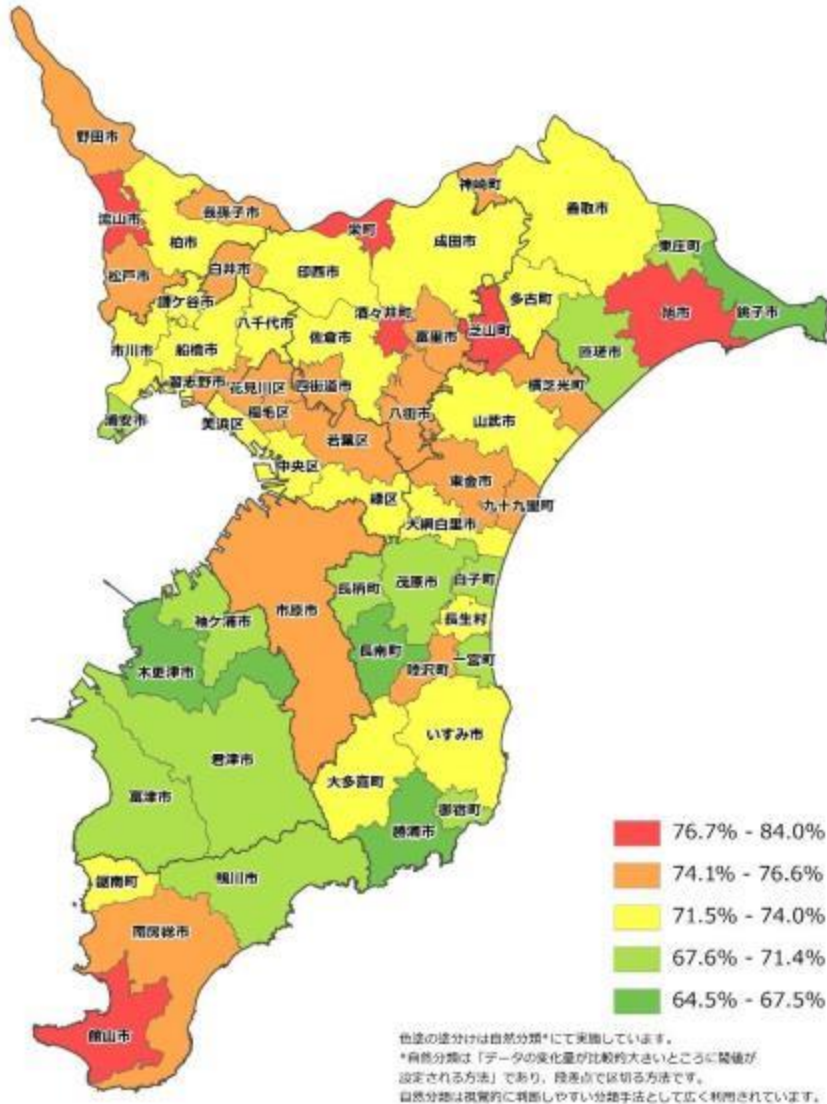
※千葉県全体の疾病中分類別医療費上位3を色付け

※赤色のデータバーは各医療圏の1位を100とした場合の比率を作成

第6章 後発医薬品の状況

6-1. 後発医薬品の数量割合（国保）

- 千葉県国保の平成30年度の後発品の数量割合は73.2%であった。
- 旭市が84.0%と最高値になっている。



市区町村	後発医薬品 数量割合(%)	市区町村	後発医薬品 数量割合(%)
旭市	84.0%	市川市	73.0%
山武郡芝山町	78.2%	安房郡鋸南町	73.0%
流山市	77.9%	佐倉市	72.9%
印旛郡栄町	77.5%	長生郡長生村	72.8%
印旛郡酒々井町	77.4%	夷隅郡大多喜町	72.7%
館山市	77.1%	大網白里市	72.7%
東金市	76.6%	柏市	72.6%
長生郡睦沢町	76.6%	印西市	72.6%
四街道市	76.3%	香取市	72.5%
香取郡神崎町	76.2%	香取郡多古町	72.5%
白井市	75.6%	千葉市緑区	72.4%
野田市	75.4%	千葉市中央区	72.4%
南房総市	75.3%	山武市	72.3%
松戸市	75.3%	茂原市	71.4%
習志野市	75.0%	長生郡一宮町	70.9%
市原市	74.9%	富津市	70.8%
千葉市稲毛区	74.9%	袖ヶ浦市	70.7%
千葉市若葉区	74.6%	鴨川市	70.6%
八街市	74.6%	君津市	70.5%
山武郡九十九里町	74.5%	香取郡東庄町	70.4%
富里市	74.5%	長生郡長柄町	70.4%
我孫子市	74.4%	長生郡白子町	69.0%
山武郡横芝光町	74.3%	匝瑳市	68.7%
千葉市花見川区	74.3%	夷隅郡御宿町	68.5%
鎌ヶ谷市	74.0%	浦安市	68.3%
成田市	74.0%	銚子市	67.5%
千葉市美浜区	73.9%	木更津市	66.9%
船橋市	73.6%	勝浦市	64.7%
いすみ市	73.5%	長生郡長南町	64.5%
八千代市	73.3%	千葉県平均	73.2%

県平均値
73.2%